研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-133	A-134	17-088	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

Problem drinking among Flemish students: beverage type, early drinking onset and negative personal & social consequences.

フランドル地方の学生を用いた問題飲酒における飲酒の種類、早期飲酒開始による個人的及び社会的な負の影響について

執筆者

Sara De Bruyn , Edwin Wouters, Koen Ponnet, Joris Van Damme, Lea Maes, et al.

掲載誌

BMC Public Health. 2018 Feb 12;18(1):234. doi: 10.1186/s12889-018-5120-7.

キーワード	PMID
大学生、早期年齢の飲酒、飲酒の種類	29433466

要　旨

目的：

多くの西洋諸国では飲酒は社会的に許容されているが、飲酒による負の影響があることは、特に大学生において明らかとなっている。しかしながら、西欧において飲酒の影響と飲酒の種類や飲酒開始年齢との関連についての研究は乏しい。そこで本研究では 1、学生による飲酒の種類と飲酒による負の影響は何か、2、早期飲酒開始と飲酒による負の影響と関連があるか、について検討を行った。

方法：

ベルギーのフランダルに住む学生に飲酒を測定する Head in the clouds?という大学間の計画によって集められたデータを使用した。計 19.253 人の匿名の大学生データが利用可能であった。負の影響については、Core Alcohol and Drug Survey(CADS_D)の短縮版を用いた。解析には、負の二項回帰分析を用いた。

結果：

飲酒に伴う出来事の種類によって結果は異なっていた。個人的な負の影響は、日常的なビールの飲酒者に多かった。しかし、社会的な負の影響の多くは、ビールと蒸留酒の日常的な飲酒者の両者に認められた。早期飲酒の開始は、個人的及び社会的な負の影響と有意に関連しており、特に、ビールと蒸留酒の飲酒開始年齢と社会的な負の影響において強く関連が認められた。

結論：

個人的及び社会的な多くの負の影響は、ビールと蒸留酒の常習的な飲酒と関連した。今回の発見は、ビールの飲酒と個人的な負の影響との間、及びビールまたは蒸留酒の飲酒と個人的及び社会的な負の影響との間に関連があることを示した。同様に、早期飲酒開始は、個人的及び社会的な負の影響に大きな影響を与え、学生の飲酒を始める時期が早ければ早いほど、大学生のうちに彼らが経験する負の影響は多くなる。本研究は、大規模な学生の集団に CADS_D を用いて、飲酒の種類と飲酒開始年齢とそれに伴う負の影響を詳細に調べた最初の研究である。今後も介入や政策の議論が行われることだろう。